

5月の行事予定

- 1 火 3年振替休業日
2 水 安全点検日 職員会議
3 木 憲法記念日
上川合同バスケットボール大会
加盟団体卓球春季対抗戦
4 金 みどりの日
上川合同バスケットボール大会
5 土 こどもの日
6 日 第1回道北陸上記録会
道新杯争奪B級卓球大会
7 月 全校朝会 家庭訪問①
部活動後援会役員会
8 火 給食集金日 家庭訪問②
9 水 尿検査2次 家庭訪問③
10 木 家庭訪問④
PTA役員総会
生徒総会 家庭訪問⑤
11 金 1年心電図検査
部活動顧問・理事合同会議

13 日 第2回道北陸上記録会
14 月 内科検診 隆月祭練習開始

16 水 全協・常任委員会
17 木 職員会議
18 金 校内研修日
18 土 名寄地区会長杯バスケットボール大会
20 日 道北春季陸上選手権大会
23 水 午前授業・市教研一斉研修日

25 金 給食集金日 隆月祭練習
26 土 隆月祭前日準備
27 日 隆月祭 部活動後援会行事
28 月 振替休業日
29 火 振替休業日

31 木 校内研修日

桜前線も北上し、士別の街に訪れるのが待ち遠しい季節となりました。連休前の四月下旬には、三年生が三泊四日の修学旅行に出かけ、感動的な体験と自己の成長につながる貴重な思い出を残しました。(裏面に特集記事)

入学式から一ヶ月、新しい環境の中で緊張感の漂つていた新入生の表情も、新たな出会いや生徒会オリエンテーションなどを通して、徐々に笑顔がほころんできました。また、生徒には、誰もが同じスタートラインに立つて新しい自分をめざすチャンスの時、これまでの自分を振り返り、自分はどう成長したいのか具体的な目標を掲げ、それに向かってチャレンジする勇気と希望をもとうと話しました。本校では、開校以来の校訓「学而思」の

育成」を掲げました。「愛する南中・誇れる南中・チャレンジする南中」を合い言葉で、今年度は「心やさしい南中生」「すすんで学ぶ南中生」「ねばり強い南中生」の三つの姿をめざして、①思いやりの心を育む教育、②基礎・基本の習得と自ら考える力、③たくましい学ぶ確かな学力の向上、④地域とのふれあう豊かな体験のある開かれた教育、れあれあう豊かな体験のある開かれた教育、それが四つの柱に取り組んで参ります。そのためにも、師弟同行の精神で、教職員と生徒が共に心を通わせ、保護者の方々と一緒に声援を心からお願いいたします。

校長 丸山 隆司



-校訓-

「学びておもう」



士別南中学校
学校通信「学而思」
文責 教頭

『愛する南中、誇れる南中、チャレンジする南中』
をめざし全力で頑張ります。

教職員紹介

三学年	二学年	一学年	教校
み C B A 副 副 な組組組 担任 担任 担任 担任	副 副 A組 あゆみ 担任 担任 担任	副 副 ひかり ひばさ 担任 担任 担任	事務員 相談員 指導員 教室
松北 鶴清 成 原市 田水 発瀬 昌健 栄貴 智 平也 美之 章了	菅原 村山 加藤 宏未 五十嵐 健 望正子 亨 慎司	横高橋 加藤 佐藤 田安野 佐藤 旭 英樹 友勝 沢貴 章治 誠歩 光	丸山 久松 武夫 下村 吉田 豊 西條 文泰 津恵 金谷 則彦 やす子 昌子 めぐみ
1 31 31 29 名名名名	2 34 36 名名名名	1 1 25 26 25 名名名名名名	校長 丸山 隆司 副校長 丸山 隆司 教諭 丸山 隆司 教諭 丸山 隆司 教諭 丸山 隆司

生徒合計二四二名

学校通信「学而思」は、道新たちばな販売店様、阿部新聞販売店様の「好意により配布させていただいております。

学

校

通

信

」

よろしくお願いします。

□ 久松 武夫
(中富良野町立中富良野中学校より)

□ 加藤 勝
(北海道旭川養護学校より)

□ 佐藤 誠
(旭川市立広陵中学校より)

□ 横田 英樹
(名寄市立名寄東中学校より)

□ 鶴田 実美
(古小牧市立沼の端中学校より)

生徒会オリエンテーション

(4月10日)

新入生に対し、上級生による学校紹介が行われた。生徒会の説明や心得をパフォーマンスを交えて紹介されました。

続いて部活動紹介がありました。実演入りの紹介を見た新入生は、感想インタビューを思い思いに話していました。自分を磨くために今後の頑張りを期待します。

交通安全集会(4月23日)

体育館に村山先生の声が響く。ここ数年で南中生が遭った自転車事故の例を具体的に話しました。生徒たちも真剣な表情で自分たちの身近な安全について考えていました。その後、各学級に戻り、交通安全テスト問題に取り組み、安全宣言を確認しました。①歩行時の安全 ②自転車の安全運転 ③安全点検日は学級会で確認すること。

【修学旅行特集】～感動ある体験と成長の旅～



『自ら考へ、判断し、行動する生徒』を目指して、生徒の手で目標を決め、自主研修の計画を立て準備に取り組んできた修学旅行。二人の生徒が体調を崩し、やむなく三日目に帰宅となりましたが、旅行中はおおむね好天気に恵まれ、道南・道央の歴史や文化を堪能しながら、感動ある体験と人々との出会いや集団行動を通して自己成長のある貴重な旅になりました。

第一回（士別～長万部～函館）（四月二十一日）

午前七時、保護者の皆さんに見送られ、バス三台に分乗して三年生全員が元気に出発。士別駅端台に停車して、JRバスの車内にて、「インター」より高速道にて一路長万部へ。

が一人体調を崩し、ハヤーで救急病院に搬送する。流行性感冒との診断で、夕食前に生徒が報告を受け、緊急対策の打合せを招集。夕食後、生徒のレクリエーション集会を進めながら保護者と連絡を取り、帰宅搬送の手続きをとる。

治療を受けた生徒が一人体調を崩し、ハヤーで救急病院に搬送する。流行性感冒との診断で、夕食前に生徒が報告を受け、緊急対策の打合せを招集。夕食後、生徒のレクリエーション集会を進めながら保護者と連絡を取り、帰宅搬送の手続きをとる。

ホテルに戻った九時前、レク集会を終えた生徒が体調を崩し、再び救急病院に搬送。病院に付き添う下村教諭から気管支炎との連絡を受け、保護者に連絡し、対応策を相談する。

一方で、生徒の相談事や就寝指導のため、教員全員が手分けしながら、相談や指導、病氣の生徒の看病や連絡対応に当たる。

二人目の生徒が病院から戻ったのは午前〇時過ぎ。二人の生徒を回長室と予備室に隔離し、担任と養護教諭が付き添つ。

どうを訪ねた自主研修は、門限が十六時ちょうど
この間、ホテルに待機する本部にはトラブルを
生の連絡がなく、生徒全員無事ホテルに到着するものと思ひきや、門限を過ぎても戻つてこない
グループが二班。前日の教訓が生かされず、再び
お灸をすくふことに……。
その後の班長会議で出された自主研修の反省文
では、混み合った会議室の中で席を譲ったこと、挨拶や礼儀に心がけたこと、計画どおり協力して行動したことなど、自分たちで考えて、努力するリーダーたちの言葉に、成長する生徒の姿を見ることができた。

透明度日本一の尻別川は、やや風が強いものの快晴の空に映える羊蹄山を眺めながらの川下りには絶好のコンディションである。

十艇のゴムボートに分かれ、安全装備に身を包んだ生徒たちは、イドさんの指導で一致協力して、ハドルを漕ぎ水しぶきに歓声をあげ



木下は、朝食を食べながら、話題をつぶやいていた。
「ホテル従業員のはからいで、朝食を食べられな
い生徒に軽食セットを持たせていた。だく。
七時三十分 北市教諭の引率で生徒二人が函
館駅に向かう。他の生徒たちは、朝食後、荷物を
まとめて八時にホテルを出発。快晴の下、一路体
験研修先の二七〇に向かう。
十二時前、二七〇の昼食会場「ホテル日航アンヌ
プリ」に舌鼓を打つ。カレー・牛丼・中華丼のバイキング
屋食を終えた生徒たちは、午後一時、三台の
バスに分乗してコース別体験研修に向かう。

旅行を終えて、三年生(諸君)には、まず、旅行に送り出して、ださった保護者の皆さん、安全をサポートしていく、だされた添乗員さんやバス会社の皆さん、旅行先でお世話になったホテルや見学先生の方々、そして、寝不足の番で健康安全に尽くした引率職員など、この旅行にかかわった人々に感謝の心を伝えてほしいと思います。この旅行で培った正しい判断力や行動力、支え合う仲間意識を、「皇明祭」など今後の行事や残りの中学校生活に大いに生かし、自己の成長にしつかりとうなげてほしいと心から願っています。

第四回(札幌市内自主研修・土別) (四月二十八日)
旅行の最終日。朝から澄み切った青空が広がる。生徒の体調も心配ではなく、朝食後の八時三十分、小樽・札幌市の内の自主研修に出発。共通チケットボイントは、小樽駅と札幌駅の構内。北一ガラスやオルゴール堂、JRタワー・テレビ塔、札幌ファクトリーなどを巡り、札幌駅北口には昼食をとつて午後二時三十分に集合。初めてグループ全員が集合時刻に間に合い、無事に帰路に向かうことができた。



午後五時二十分、バスは予定通り学校に無事帰着。出迎えの保護者の皆さんに旅行の報告をし解散式を終える。